

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学童クラブ施設整備事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	教育総務課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	根本 政廣			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童	意図	放課後に適切な遊び及び生活の場として学童クラブ施設を整備し、健全な育成を図る。
事業内容	学童保育の需要に対応した学童クラブ施設を整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和51年度に江戸川台に「子どもルーム」を設置して以来、平成20年度までに市内15小学校区すべてに学童クラブが整備された。その後、建物の老朽化等による建替や移転、入所児童の増加による増設、おおたかの森小学校開校に伴う学童クラブの設置等を行ったほか、平成27年度には鯖ヶ崎小学校区に、平成28年度には小山小学校・流山小学校区に新たな学童クラブ施設を整備した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	整備後の学童クラブ施設数	23	24	27	施設	↑↑↑
②	整備後の定員数	1,175	1,215	1,375	人	↑↑↑	
③	延利用人数	12,355	14,097	14,703	人	↑↑↑	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	流山小学校区に「第2おおぞら学童」（定員60名）、小山小学校区に「第3おおたかの森ルーム」「第4おおたかの森ルーム」（各定員50名）を整備した。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市内16小学区の全てに学童クラブが設置されている。 学童クラブの利用者の増加に対応した施設の整備が求められている。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		64,748,855	72,184,463	207,212,850			
事業費(b)(円)		59,220,855	66,913,463	198,357,000			
うち一般財源		28,228,855	50,629,463	58,151,000			
職員給与費(c)(円)		5,528,000	5,271,000	8,855,850			
人役・職員(人)		0.80	0.70	1.29			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	児童数の増加を視野に入れ計画的に施設整備を進めていく。	③取組の課題	児童数と学童需要が増加している小学校区について、新たな施設整備や利用可能な学校教室の活用が課題となっている。
②今年度(H28)に実施した取組	流山小学校区及び小山小学校区に新たな学童クラブ施設を整備し、定員増を図った。	④今後の改善計画	児童数と需要の増加に対応して計画的に施設整備を進めるとともに、学校教室を積極的に活用する。